

社協だより

【令和2年11月号】
第421号



お菓子どれに
しようかな♪
～子ども秋祭り(栄区)～



今月の特集
地域を支えるネットワークはあとなつち
～福祉委員会活動の紹介～

11月の行事予定

※変更となる場合がございますので、事前に社協までお問合せのうえご来館ください。

- 10日☾ 心配ごと相談 (13時～15時)
※司法書士法律相談 (13時～15時、要予約)
- 15日☽ 民生児童委員・福祉委員合同研修会 (14時～15時半)
- 17日☾ 心配ごと相談 (13時～15時)
※弁護士法律相談 (13時～15時、要予約)
- 24日☾ 心配ごと相談 (13時～15時)

(※法律相談事業は、賛助会費を財源として実施しています。)

はあとびあのイベント

- 14日☽ 結婚相談 (10時～12時)

第5回 集落自慢コンテスト

動画公開中!

グランプリは河原市区に決定しました!

集落の魅力を再発見し、町民の方に自分が住む地域への愛着と誇りを持ってもらいたい、と毎年開催している集落自慢コンテストですが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出場集落が作成した動画にてコンテストを行いました。

各集落の動画を
美浜町社協
ホームページ
にて公開中!



河原市区「河原市大作戦」



笹田区「ささだ健康サロン」



山上市「年越しそばでおもてなし」

「福井県 美浜町社協」で検索するか、下記QRコードからもアクセスいただけます。



ありがとうございます

令和二年 九月二日～三十日

- 〔社会福祉事業基金〕
心よりお悔やみ申し上げます
- 伊藤定雄さんより、故弘さんのご香典の一部 (子育て事業へ)
- 篤志寄付
- とく名さんより、二〇,〇〇〇円 (社会福祉事業へ)
- 〔使用済み切手〕
(株)武田組さん(久々子) シンコウ建設(株)さん(興道寺) 味くらべさん(郷市) 岡本和行さん(河原市) 高木エミ子さん(金山) とく名さん
- 〔未使用はがき〕
高橋久嗣さん(日向) 味くらべさん(郷市) 高木エミ子さん(金山)
- 〔その他〕
各種サービスにいただきました
- 高木エミ子さん(金山)より、介護用品
塚原千恵子さん(興道寺)より、野菜
- 〔社会福祉事業基金〕
高木重さん(金山)より、福祉機器
山口晴美さん(小倉)より、介護用品
小嶋俊明さん(松原)より、福祉機器、日用品
とく名さんより、野菜
生活困窮者支援にいただきました
美浜ライオンズクラブさんより、食品
とく名さんより、野菜、果物
〔でんでんむしの家〕にいただきました
八木賢さん(郷市)より、野菜
とく名のみなさんより、米、野菜
〔弥右門さん家〕にいただきました
とく名のみなさんより、野菜、米、果物
澤井美智子さん(佐田)より、日用品、飲料
とく名のみなさんより、野菜、介護用品、米
- 〔吉右門さん家〕にいただきました
森久文夫さん(新庄)より、食品
野井美智子さん(佐田)より、日用品、飲料
とく名のみなさんより、野菜、介護用品、米

発行：社会福祉法人
美浜町社会福祉協議会
(美浜町保健福祉センター「はあとびあ」内)
〒919-1141 美浜町郷市25-20
TEL (0770) 32-1164 FAX (0770) 32-5915
http://www.mihamachoshakyo.com
E-mail shakyo1164@kl.mmnet-ai.ne.jp
美浜町社協公式LINE アカウントあります!

編集後記
今月は表紙写真として、栄区の秋祭りの様子を撮影させていただきました。コロナ禍でお祭りの中止などが相次ぐ中、予防対策をしっかりとしながら開催された皆さんの参加された大変にぎやかな時間となりました。お祭り終了後も公園で元氣よく遊ぶ子どもたちの姿が見られ、できるだけ早く町内各所での祭りごとが再び開催されますよう、心から願う時間となりました。
塩浜



地域を支えるネットワーク

福祉委員会活動の紹介

現在、美浜町では28集落で福祉委員会が設置されています。集落における身近な困りごとや課題を共有したり、また災害時の対応の検討など幅広く活動されています。今回は3つの福祉委員会を取り上げ、その活動をご紹介します。

金山区福祉委員会

(平成22年設置)

民生児童委員の田邊敏明さんにお話を伺いました。

【現在の活動について】

金山区は、ひとり暮らしの方や高齢世帯が増えてきたこともあり、福祉委員会で見守り対象者の見直しと、会則の改正をしました。

金山区福祉委員会は、区長、民生児童委員、福祉委員、老人家庭相談員で構成されており、月に一度の定例会で情報を共有しています。民生児童委員だけでは区内すべての相談に



写真左から:田邊民生児童委員、浅妻保さん

お一人暮らしの方にお話を伺いました。

金山区の浅妻保さんにお話を伺いました。

Q. 普段の過ごし方を教えてください。

A. 畑をしているし、家事も自分でしています。週末は息子夫婦が来てくれます。週末は息子が、毎日電話をかけてきてくれて、出ないときは様子を見に駆けつけてくれます。

Q. 民生児童委員さんの訪問について、どう思いますか。

A. 元気に過しているの、わざわざ見守りに来てもらうのが申し訳ないように思います。気がかけてくれてありがたいと思っています。また、出歩くことが少なくなり、区内の様子を聞いたり、たわいもない昔話をするのも楽しみのひとつです。



金山区福祉委員会の目的に、「区民がお互いに支え合い、助け合い、見守り合う社会づくりを委員会活動を通して行い、安全に安心して暮らせる地域づくりを目指す」という一文があります。福祉に理解のある区民が増えるといいなと思いますし、また、災害時の対応についても検討が必要だと感じています。

野口福祉会

(平成22年設置)

福祉委員の秋山豊治さんにお話を伺いました。

【現在の活動について】

野口福祉会は設置してから10年が経ちました。福祉委員・民生児童委員・区長、他7名のメンバーで活動しています。昨年規約の見直しを行い、また奇数月に定例会の会議を開催することになりました。毎回の会議では、委員同士が少し心配な区民の様子についての情報を共有し、必要な対応等について協議しています。また、災害時の対応についても話し合いを重ねています。

【災害時の対応について】

野口区で今までに、本格的に災害時の対応や防災について話し合う機会がほとんどなかったということに気付きました。防災マップなど、土砂災害等の危険性を示す情報はありますが、そこから先は「自分で自分をどう守るか」が大切だと思っています。一方で手助け

災害時対応について話し合う福祉会メンバー



が必要な方について、福祉会として何をどのようにお手伝いしたらよいかを話し合っています。

【今後の活動について】

これから区役員等とも密接に連携して、緊急時にスムーズな対応が行えるように検討を進めていかなければならないと思っています。また11月の定例会議では具体的に災害時対応のコミュニケーションを行い、それを元に具体的に「誰が」「どのように動くのか」を話し合っていくしたいと思います。

菅浜福祉委員会

(令和2年設置)

民生児童委員の吉本典子さんにお話を伺いました。

【福祉委員会設置のきっかけ】

「災害が起きた時、どうするんだらう?」と考えたことがきっかけです。集落の役員さんや消防団員さん、また民生委員や福祉委員さん、老人家庭相談員さん等の福祉関係者の連携があまりなく、また区民のみなさんがどんな暮らしをしていて、どんな困りごとを抱えているのかなど、分からないことがたくさんありました。それが福祉委員会を設置したいと考えたきっかけです。

【活動の中で感じる思い】

一足飛びに防災のことを考えるのではなく、集落に住む方同士がどれだけ顔を合わせて、つながりを持っているかということが、防災を含めた緊急時の対応に生きてくるのではないかと感じています。隔月で行っている定例会議では、委員同士が活動の悩みを共有して相談することもあり、個々の活動に



自主的な集い場の様子(海のくらし館)

おける困りごとを抱え込まない状況が作られていると思います。

【今後の活動について】

現在薬師堂や海のくらし館で自主的に集い場が開かれています。福祉委員会としても区民のみなさんが安心して暮らせるような活動に取り組みたいと思っています。これから菅浜区ですと暮らしていく私自身にとっても、皆さんの楽しみを感じられる活動をしていきたいです。